

科目名・単位数	経営学概論 2単位	科目分類	経済・経営系	基本科目
配当年次	1年次・春学期・昼・夜	担当教員	むらた だいがく	
履修形態	選択		村田 大学	
授業概要	<p>経営学は現実の企業を研究対象とするものであるが、学問としての経営学は抽象的で難解な部分が多いのも事実である。そこで、我々の身近に起こっている具体的事例を多く用いて難解な理論を出来るだけわかりやすく説明していく。講義の内容は学生の関心や理解度など必要に応じて変更することがある。また、状況に応じて LTD など実施することがある。</p> <p><u>特に2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、授業方法や成績評価の方法等も含めた授業全体を対象に、必要に応じて大幅な変更を行うことがあります。授業内外での教員・大学からの連絡にご注意ください。</u></p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が、経営学の基礎的な知識を体系的に理解できるようになる。 2. 学生が、経営学の基本的な概念や理論を理解し、説明できるようになる。 			
授業方法	講義形式で授業を進めていく。経営学の基本的分析枠組みの理解を中心に行うが、新しい経営現象についても話題や事例研究として取り上げる。状況に応じて LTD やオンライン授業なども実施することがある。			
事前・事後学習	事前学習は、テキストを精読し、各授業の前に経営学辞典等で専門用語を調べておく(120分)。事後学習は、講義の内容をノートにまとめておく(120分)。手書きのノートは授業内テストの際に持ち込み可となる。			
成績評価の方法	授業内テスト 60%、レポート 30%、授業への貢献度 10% <u>ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、授業内テストをレポート課題で代替するなど、必要に応じて大幅に変更することがあります。ご注意ください。</u>			
フィードバックの方法	レポートは気づいた点、問題点など口述する。			
履修上の注意	受講者には毎回出席するよう要望する。復習に時間をかけ、とくに図書館で資料を集めるなどしながら、ノート作りに力を入れること。			
授 業 計 画				
第1回	授業の進め方、経営学の体系(どのような研究から構成されているか)。経営学と関連学科(経済学や法学などの関係)。また、授業の進め方、到達目標、成績評価基準などについて説明する。			
第2回	現代企業の諸形態(1)：企業の法律形態と経済形態 個人企業、合名会社、合資会社、株式会社、相互会社、株式会社の発展 企業の形態は、法律形態と経済形態に大別される。現代企業の様々な形態について説明する。			
第3回	現代企業の諸形態(2)：企業の結合 持株会社、企業集団、M&A(合併・買収)の種類や効果 業界再編、事業再編、M&A などについて説明する。			

第 4 回	企業と社会（1）：企業の社会的責任、企業倫理、コンプライアンス 企業の社会的責任、企業倫理の制度化、コンプライアンス 現代企業の存続の要件や企業の社会的責任などについて説明する。
第 5 回	企業と社会（2）：環境経営 環境規制、環境経営、ISO、グリーン調達 現代の企業に強く求められている環境経営の概念、法律、取り組みについて説明する。
第 6 回	コーポレート・ガバナンス（1）：アメリカのコーポレート・ガバナンス 歴史、法規制、機関投資家、株式会社の機関 アメリカのコーポレート・ガバナンスの歴史や特徴等について説明する。
第 7 回	コーポレート・ガバナンス（2）：日本のコーポレート・ガバナンス 歴史、法規制、所有構造、株式会社のタイプ、株式会社の機関 日本のコーポレート・ガバナンスの歴史、現状、特徴について説明する。
第 8 回	コーポレート・ガバナンス（3）：日本の企業経営・コーポレート・ガバナンスの実態 企業経営目的の国際比較、日本の長寿企業、経営理念、日本的経営 法律と乖離した日本の企業経営・コーポレート・ガバナンスの実態について説明する。
第 9 回	経営戦略 経営戦略論の系譜、製品ライフサイクル理論、PPM 理論 経営戦略論の系譜やその基本的な理論について説明する。
第 10 回	経営管理の理論（1）：テイラーの管理論 F.W テイラーの科学的管理論、 課業管理 伝統的な理論である、テイラーの理論の要点を解説する。
第 11 回	経営管理の理論（2）：ファヨールの管理論 経営と管理、管理の要素、管理過程論、管理原則 伝統的な理論である、ファヨールの理論の要点を解説する。
第 12 回	経営管理の理論（3）：ホーソン実験と人間関係論 照明実験、社会人仮説、モラール ホーソン実験と人間関係論の主要理論の要点を解説する。
第 13 回	経営管理の理論（4）：行動科学的管理論 同一力、欲求階層説、X 理論、Y 理論 行動科学的管理論の主要理論の要点を解説する。
第 14 回	経営管理の理論（5）：バーナード・サイモン理論 人間仮説、協働体系と公式組織、組織の 3 要素、有効性と能率 伝統的な理論である、バーナードの理論やサイモンの理論の要点を解説する。
第 15 回	授業内テストおよび総括
テ キ ス ト	佐久間信夫・大平義隆編著『新 現代経営学』学文社、2016 年。
参 考 図 書	佐久間信夫編集代表『増補版 現代経営用語の基礎知識』学文社、2005 年。